

告示	番号	5	慢性腎疾患
	疾病名	寡巨大糸球体症	

寡巨大糸球体症

かきょだいしきゅうたいしょう

概念・定義

寡巨大糸球体症腎は、低形成腎、すなわち腎の発生過程で、何らかの原因により生じる尿管芽の分岐異常により、組織学的には正常なネフロンを有するがネフロンの数が少ない先天性な矮小腎のうち、腎杯の数も少なく、ネフロンの分布が疎で、糸球体が正常の2倍以上にも及ぶ肥大を認めるものを言う。低形成腎の1病型に分類されることも多い。

治療

本症に対する特異的な治療はなく、進行する腎機能障害やそれに伴う合併症に対する対象療法が主体となる。

抜粋元：http://www.shouman.jp/details/2_16_39.html